2013年度Ｎｏ．１２

園報せいあい

発行;社会福祉法人聖愛保育園
湯布院町川上2990-14/TEL84-2317
園　長　小森　一典

２０１３年度　年主題聖句

『 信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。』

新約聖書　コリントの信徒への手紙Ⅰ　１３章１３節

３月　主　題　　「 喜びにみちて 」

『 3わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、4 忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。**5 希望はわたしたちを欺くことがありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。（３月聖句）**』

新約聖書　ローマの信徒への手紙　５章３～５節

「 希望は失望に終わることはない 」

今年度の保育は、上記の通り『 信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る 』と言う年主題の御言葉に基づいて歩んで参りました。最後の一ヶ月、私は子ども達と過ごす中で、彼らの澄み渡る瞳を見つめながら、神さまから与えられた『 信仰と、希望と、愛 』と言う人生の宝物が、子ども達の心の中にたくさん詰まっていることに気づかされました。

日本では、『 三つ子の魂百までも 』と言う有名な諺（ことわざ）があります。この一年、私は、つぶらな瞳で真剣に生きている幼な子達の前に立たされて、正直なところ、大人としての未熟さと責任を痛感させられる毎日の連続でした。その理由は、本当の意味で、子どもの尊さ、その存在の意味を、大人である私たちは静かに考えてみることが果たして出来ただろうか。更には、子ども達が毎日を活き活きと、幸せに生きるために、そして、やがて大人へと成長していく中で、その意味ある人生を全うするために、今大人が本当にしなければならないことは何であるのか、と言うことを考えさせられたからです。

特に、今週２８日（金）の卒園・修了式において、すずらん組（年長児）の子ども達は、卒園証書を手にして、この園から巣立って行きます。保育年数の長い児童においては、この園で６年余りを過ごしました。その間、沢山の出会いを経験したことでしょう。大切なお友達との出会い。先生や地域の方々との出会い。そして何よりも他の幼稚園や保育園では出会えなかった神さまやイエス様との素晴らしい出会いです。

度々、出会いは、その人自身の人生や生き方そのものを大きく左右すると言われることがあります。この園から巣立って行く子ども達は、これからも多くの出会いを経験します。その出会いの中で、掛け替えのない喜びや素晴らしさを何度も経験します。一方で、時には悲しみや苦しみを覚えたりすることでしょう。けれど、人生の初めに、この園で過ごした一つひとつの出会いは、子ども達の生涯に渡って、きっと彼らの心の中に深く刻まれていくことと私は思うのです。

ところで、今年の年間聖句に「信仰と、希望と、愛」と言う言葉があります。希望は将来へと向かう軸、また愛は隣人へと向かう水平線であり、最後に信仰は見えない神さまに向かう垂直軸のことを意味します。つまり、どんな挫折をも乗り越えて行く希望と、どんな亀裂（きれつ）をも乗り越えて行く愛は、神さまから与えられる恵みによって支えられていく、と言うのです。ここに、人が人として自立して行く土台、キリスト教保育の素晴らしさがあります。

特に、すずらん組の保護者の方々の中には、卒園式を迎え、初めて我が子を聖愛保育園に連れてきたことを昨日のように思い起こされていることでしょう。お父さんやお母さんに抱っこされ、よちよち歩きで漸くたどり着いた我が子が、今や自分自身でしっかりと二本足で立ち、豊かに成長した姿には、言葉で言い尽くせないほどの大きな喜びが込み上げてくることではないでしょうか。

自立への旅立ち、それは輝かしい未来への希望であります。この園を巣立つ子供たちは、何れ親の手から離れて、ひとり歩きを始めます。でも、前方には大きく手を広げ、つまずきそうになったら、

手を伸ばし、支えて下さるイエス様がおられるのです。だから、子ども達も自信と喜びと希望を持って、歩きはじめることが出来ることを私は信じて止まないのです。きっと、いつまでもイエス様が子ども達と共に歩んで下さることでしょう。

この園で過ごした子ども達にとっては、ここは掛け替えのない安全地帯であり、いつでも飛び込んで帰って来ることの出来る場所なのです。だからもし、悲しいことや苦しいことがあったら、いつでも神さまのお庭である聖愛保育園に帰って来て良いのです。

最後に、すずらん組のお友達を始め、転出されていくお友達は、新しい道へと旅立ちます。子ども達の未来の扉がいつでも健やかに開かれていくことが出来るように、神さまがいつも暖かい眼差しで見守って下さっていることを心よりお祈り致します。

行 事 予 定

○　３月２８日（金）**第６２回卒園・修了式**

○　３月３１日（月）２０１３年度保育終了日

※　３月２９日（土）、３１日（月）は、新年度の保育準備のため予備日となっています。

２０１４年度

◎　４月　１日（火）入園・進級式

◎　４月　９日（水）歯科検診（田代歯科）

◎　４月１０日（木）園児健康診断（岩男病院）

◎　４月１４日（月）合同礼拝（以上児クラス）

◎　４月１５日（火）第１回保護者役員会　　午後７時より～

◎　４月１６日（水）英会話（すずらん組）

◎　４月１７日（木）避難訓練

◎　**４月２０日（日）イースター主日礼拝（復活祭）**

※　日曜礼拝は、誰でもご自由に参加することが出来ます。

◎　４月２３日（水）お見知り遠足　　於：庄内町総合運動公園　　雨天時：湯布院町Ｂ＆Ｇ体育館

※　後日、案内文書を配布致します。

◎　４月２４日（木）合同礼拝・誕生日会

◎　４月３０日（水）英会話（ゆり組、すずらん組）

●　５月３１日（土）第６３回聖愛運動会

※　保育園行事に参加される保護者の皆さまは、早めにご予定を入れて下さいますよう宜しくお願い致します。

お 知 ら せ

☆　新入園児のお友だちを紹介します。宜しくお願い致します。

ちゅうりっぷ組　　飯田　こころ（いいだ　こころ）ちゃん

ひまわり１歳児　　飯田　羚太　（いいだ　れいた）くん

☆　**卒園・修了式について**

卒園・修了式のプログラムについては、裏面に記載していますのでご覧下さい。

また各クラスからのご案内も今後配布される予定です。

☆　毎週日曜日、午前９時から９時３０分まで子ども達の教会学校を行っています。静かな朝、神さまを礼拝し、神さまの愛と祝福を味わうひと時をご一緒に過ごしてみませんか。

特に、卒園されていく保護者の方々の中で関心のある方は、小森 牧師か利光 先生までご連絡下さい。

又、４月２０日（日）は、**イースター礼拝（復活祭）**と言う特別な礼拝を行いますので、教会学校の礼拝は**休　会**と致します。

卒園式（３月２８日・金）についてのご案内

当日の流れ

時　間	３，４，５歳児	０，１，２歳児	保　護　者
８時 ８時３０分 ８時５０分	すずらん組登園 その他のクラス登園 すずらん組とお別かれ すみれ、ゆり組順次、会堂に入場 卒園児会堂に入場	その他のクラス登園 各クラスにて保育士と過ごす	全クラス保護者 会堂入室
９時	卒園式開始		
１０時３０分	各クラスで、証書・記念品をお渡しします。 各クラスでのお別れ会	各クラスにて記念品をお渡しします。 各クラスでのお別れ会	保護者会総会（会計報告） 各クラスへ移動 各クラスでのお別れ会
１１時	保護者と園庭へ 花のアーチで卒園児をお見送り ５歳児は整列してアーチを親子でくぐります	保護者と園庭へ	花のアーチで卒園児をお見送り

○　**保護者の方は８時５０分までには会堂へお入り下さい。**

- **会堂内での携帯電話の使用は、固くお断り致します。**
- 私語は謹んで、卒園式に相応しい姿勢でご出席下さいますよう宜しくお願いします。

○　**卒園児保護者席は前方右側３列目と左側来賓席の後席２列にご着席下さい。**

○　卒園式終了後、保護者会総会、各クラスでのお別かれ会を済ませた後、１１時頃、「蛍の光」を流しますので園庭にて卒園児をお送り下さい。
卒園児はウッディ近くへお並び下さい。
在園児と保護者は花のアーチをつくって卒園児をお見送り下さい。
お見送りが終わり次第、降園となります。

ennpou Seiai（２０１４・３・２５）